

〔優 秀 賞〕 現場のデジタル管理「Arch安全セーフティ」



代表取締役CEO
松枝 直氏

株式会社Arch

〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地1-13-22

TEL.090 (8120) 0928

<https://arch-dx.co.jp/>

「Arch安全セーフティ」は、建設現場の安全管理をデジタル化するウェブアプリケーション。アナログで運用されてきた点検・計画・書類業務を効率化し、現場の安全性と生産性を高める。対象利用者層として、現場全体の安全管理とコンプライアンス確保を担う元請け企業（ゼネコン）、日々の点検業務を行う協力会社（サブコン・職人）、点検状況の把握から承認・指示まで実施する現場監督と安全管理者を想定している。NETIS登録、国際標準化機構（ISO）/国際電気標準会議（IEC）27001認証製品として、2024年4月の発売から大手ゼネコンを中心に導入実績を伸ばしている。

建設機械や足場の始業前・月例点検のデジタル化、作業計画書の作成・配布に加えて、安全関係書類の申請・承認フローも効率化できる。危険予知（KY）活動のデジタル化に向け、労働災害事例を活用した人工知能（AI）予測機能の開発も進めている。データの真正性を担保するため、2次元コードによる点検技術を採用。「誰が・いつ・どの機械を点検したか」を厳密に記録できるようにした。導入効果として、点検時間を従来比83%削減した上、点検漏れの発生がほぼなくなった成果も確認している。

現場単位のライセンスモデルを採用し、ユーザー数や登録機械数に依存せず、協力会社も含めてすべての関係者が利用できる点も強み。

